

ちょっとした、得する！耳寄り情報

Vol. 45

てんこもり

発行：丸ス産業株式会社 「てんこもり」編集部
TEL：0574-72-1318 FAX：0574-72-2739

暑い日が続きますが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。



は、6月15日に開通しました。この季節、国立公園特別保護地域の残雪と新緑、そして大自然のダイナミズムを楽しむことができます。温泉に泊まって片道無料キャンペーン、ジオ・エコ散歩、音楽イベントなどホワイトロードは年間を通してイベント盛り沢山です。皆さんも足を運んでみてはいかがですか。イベントの内容の詳細はこちら

<http://hs-writeroad.jp>

- 通行料金 ○軽自動車1400円 ○普通車1600円 ○マイクローバス4900円 ○大型バス10800円 by 島崎

メニュー1 絶景、天空の道 ホワイトロードへ

石川県の「古都金沢」や「白山・加賀温泉郷」と、岐阜県の「世界遺産白川郷」や「飛騨高山」を結ぶ山岳有料道路『白山白川郷ホワイトロード』



メニュー2 飛騨川バス転落事故から半世紀

相次ぐ地震やゲリラ豪雨、線状降水帯による集中豪雨など、私達は多くの自然災害と隣り合わせで暮らしています。これまでに多くの防災・減災対策がハード・ソフトの

両面でとられていますが、「飛騨川バス転落事故」が契機になったといわれています。同事故は、1968年（昭和43年）8月18日に加茂郡白川町の国道41号で発生しました。乗鞍観光に向かっていた観光バス2台が集中豪雨による土砂崩れに巻き込まれて飛騨川へ転落、乗員・乗客107名中104名が亡くなるという、バス事故史上最悪の事態となりました。事故直後の県警・自衛隊・地元消防団などの懸命の救助活動は筆舌に尽くしがたいものだったでしょう。1年後には事故現場付近の国道脇に慰霊碑「天心白菊の塔」が建立されました。私達は、二度とそのようなことがないように戒めなければなりません。この事故を教訓として、全国の国道点検が「道路防



メニュー3 美味しいお店 紹介します！

今回ご紹介するお店は恵那市中野方町にある「そば酒房山びこ」さんです。笠置山を望む高台の県道68号線に面したお店で、ツーリングに訪れるバイク客など、他県



からのリピーターも多いそうです。山形県の製粉所から昔ながらの挽き方で製粉したそば粉を独自のルートで仕入れ、丁寧に細打ちされたそばは、コシがあり、のど越しが良く、つゆとのバランスも絶妙です。板前としての経験も豊富なご主人で、地元食材等を活かした一品料理やコース料理も充実しており、岐阜ジビエ登録店舗にも指定され、笠置山周辺で捕れたイノシシやシカ等のジビエ料理がネットの口コミで訪れるお客さんが増えているそうです。お店に来ていただいたお客様に満足して帰っていただけるよう更なる美味を追求し続けているお店で

かがでしょうか。☆住所 恵那市中野方町3470-3 ☆電話0573(23)2070 ☆営業時間 11時~14時 17時~21時 ☆定休日 毎週月曜日 第1・第3火曜日 ☆駐車場有 by PKG



メニュー4
メその

ぶらり道の駅を訪ねて

今回は、道の駅「白山文化の里 長滝」をご紹介します。この道の駅は、郡上市白鳥町の国道156号線沿いにあります。6月2日、道の駅に隣接して「清流長良川あゆパーク」がオープンしました。ここでは、世界農業遺産「清流長良川」の鮎のごと体験できます。



触れて、遊んで、食べて、楽しめる場所となっています。夏に向けてイベントも続々開催予定です。

あゆパーク敷地内にあります「レストラン 里川」では鮎料理が満喫できます。ほかにも定食メニュー等が豊富です。今回、私はあゆひつまぶし定食を注文しました。そのまま食べてもよし、出汁につけて食べてもよしで、とても

おいしく頂きました。朝食もあるようですのでぜひ皆様も一度ご賞味下さい。



☆営業時間
9時～17時☆火曜定休日・年末年始☆駐車場有☆岐阜県郡上市白鳥町長滝420-10☆TEL0575(85)2115
URL: <http://ayupark.jp>

続いて紹介するのは、道の駅「清流の里しりとり」です。こちらの道の駅も、郡上市白鳥町の国道156号線沿いにあります。7月中旬から8月下旬頃まで、メロンより甘くておいしいとうもろこし（フルーツコーン）を販売しています。お近くにお出かけの際は、ぜひこちらの道の駅にもお立ち寄り下さい。☆営業時間 8時30分～18時☆休日 年末年始☆駐車場有☆岐阜県郡上市白鳥町向小駄良693-12 by 大西



メニュー5
メその

IoTの種

今回の話は、ネットの記事を参考にしています。最初に申告しますが、素人の雑な話をお許しください。IoT（モノのインターネット）とか、ビッグデータ（巨大で複雑なデータの集合）という用語は、日常生活でも耳にします。平成になった頃から、カメラやセンサーをケーブルにつないで、データを集めるようになってきました。このやり方と、IoTやビッグデータの概念とは何が違うのでしょうか？ インターネット、クラウド、スマホなどのツールは、個人で利用できるくらい安くなりましたし、田舎でもあたりまえに使えます。そのおかげで、社会に存在するもの凄多数の端末装置がネットにつながる（IoT）ことになり、「見えなかつたものを見るように」できる時代がやってきました。これまでも、VICS（カーナビについてるかも）で渋滞情報が見られたし、アメダスで気温や降雨量を知ることができました。これらは、

それぞれ独自の無線ネットワークや専用線を使って、専用のコンピュータで計測したデータを表示するサービスです。そんな中、最近、趣の異なるサービスが目にするようになりました。例えば、皆さんが利用しているグーグルマップは、交通状況が表示されるようになりました。また、地理院地図の登山道は、登山者の位置情報を用いて、今までのより正確なルートに代わる試みがスタートしています。スマホの動きを数百万台単位で集めたデータをもとに、車の混み具合を見える化したものがグーグルマップの交通状況です。また、登山道を調べるとに測量して地図を修正するのでなく、登山者の位置情報で道が浮かびあがるというのが地理院の取り組みです。



携帯端末から送られてくるデータは、測量より精密さに欠けるでしょう。ですが、たくさん集めて分析すると精密になるのが、新しい情報処理の世界です。安くて小型な装置が、大量にインターネットと接続されると、かなり正確にピンポイントで見えなかつたものが見えるようになります。今までのやり方は、カメラや計測機器が高価で、設置や接続のためにそこその工事が必要になり、トータルすると結構なお金が消費されてきました。今日、IoTで情報が集まるようになり、サーバーも安く利用できるようなになりました。従来のような工事をすることなく、計測ポイントを増やせるのです。オープンデータが整備されて、マッシュアップ（Web上の情報を加工するプログラミン）が普通におこなわれるようになりました（ビッグデータ活用）。フムフム。そういうえば、アマゾンの本質はビッグデータ企業なんですって。アマゾンは購買意欲そのもの上手ですもん。これが、第四次産業革命下での商売なんでしょうね。by FATかとう